

## 日米文化教育交流会議 第23回合同会議に関する報告

日米文化教育交流会議 (The United-States Japan Conference on Cultural and Educational Interchange: 通称カルコン CULCON(注))の第23回合同会議は、6月12日(木) 13日(金)東京にて開催されました。

本会議には、日米双方の委員(日本側委員長、榎原稔三菱商事株式会社相談役、米側委員長、ティエリー・ボルテ新生銀行代表執行役社長)と事務局(日本側:国際交流基金、米国側:日米友好基金)が出席しました。会議ではカルコン報告書「日米関係の再定義(要約および提言)」「Re-defining the Japan-US Relationship (Executive Summary and Recommendations)」が日米双方の委員の合意のもと採択され、総理大臣、外務大臣、ならびに文部科学大臣に提出されました。

カルコンは、発足以来今日まで日米間の文化・教育・知的交流を通じて両国国民をお互いに身近な存在とするにあたり重要な役割を果たして来ました。一方、今日、国際環境は大きく変化し、気候変動、貧富の格差、食料、自然災害等々グローバルな課題について両国が国際社会と共に対処して行くことが求められています。そのような中で、将来に向けての日米交流のあり方およびカルコンの役割について見直しを行ない、報告書では次の施策を提言しています。

- ・日米両国有識者間のネットワークと対話強化
- ・日本人の国際的発信力の強化
- ・米国人、特に若者の対日関心の喚起、日本語教育の拡充
- ・日米間の芸術文化交流の重要性の再認識、学芸員等専門家ネットワークの一層の活用
- ・両国の政府と民間による一層の支援、特に企業による社会的責任(CSR)の一環としての貢献

報告書原文は以下の URL よりご覧ください。

1. Executive Summary and Recommendations  
[http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23e\\_report.html](http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23e_report.html) (英文)  
[http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23\\_report.html](http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23_report.html) (和文仮訳)
2. General Policy Recommendations  
[http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23e\\_policy.html](http://www.jpf.go.jp/culcon/conference/23e_policy.html) (英文)

(注)カルコンは1961年6月、当時の池田首相とケネディ大統領との間の共同声明により設立合意、1962年1月東京で第1回合同会議を開催。日米の政府、財界、学界、メディア、その他代表から成る委員の合同会議を2年ごとに東京、ワシントンDCで相互に開催し、日米間の文化・教育交流に関する諸問題について討議し、随時提言を行なってきた。

**貴紙・誌にてお取りあげくださいますようお願いいたします。**

お問合せ:カルコン事務局 担当:河辺 Tel: 03-5369-6072